

地震乗り越え世界V

ソフトテニス 追分中・原田さん



石川県 追分中学校

「安平元気づけたかった」

【安平】胆振管内安平町立追分中3年の原田美結さん(15)が、11月に韓国で開かれた「第3回世界ジュニアソフトテニス選手権大会」の女子ダブルス(U-15)に日本代表として出場し、初優勝を果たした。胆振東部地震の影響で十分に練習できない逆境を乗り越え、つかんだ世界チャンピオン。原田さんは「安平町に優勝メダルを持って帰れてうれしい」と喜ぶ。

(千葉佳奈)

原田さんは小学1年でソフトテニスを始め、中学入学以降、年別の日本代表に選ばれるようになった。1、2年時に追分中ソフトテニス部の顧問を務めた永滝幸治教頭は「相手の動きを読んだプレーが彼女の持ち味」と話す。

9月6日の地震で原田さんの自宅は大きな被害を免れたが、原田さんや家族は余震のため、5日間の車中泊を余儀なくされた。原田さんは「自分の身を守ることで精いっぱいだった。世界大会のことを忘れるほどだった」と振り返る。

ソフトテニスの世界ジュニア大会で優勝した原田さん

それでも2週間後に練習を再開。既に部活を引退していた同級生2人が練習に協力してくれた。また父親の町内の勤務先で地下室を借り、壁打ちにも励んだ。

今回の世界ジュニア大会は11月19〜23日に開かれ、女子ダブルス(U-15)には日本代表が計3ペア出場。原田さんは東京の中学生とペアを組んで前衛を務め、勝ち進んだ。決勝で優勝候補の別の日本代表ペアと対戦。接戦でフルセットに持ち込まれ「試合の流れが相手に傾いたこともあった」と原田さん。最後は「とにかく勝利を届けて安平町の人たちを元気づけたい」という気持ちでプレーし、得意のプレーを決めて15歳以下の世界の頂点に立った。

世界チャンピオンという明るい話題に多くの町民が喜んでいるといい、及川秀一郎町長は、原田さんの快挙について「地震後の苦しい状況でよく頑張った。復興に向け、力をもらった」と話している。